

令和七年度野田小学校だより第十一号

南風とともに

つながりと成長をとおして

だれもが幸せを感じる学校づくり

文責：校長 大平 啓二

野田つ子の心を見つめる週間

参観・行事参加

ありがとうございます。

期間中は、多くの方が学校に足を運んでくださいました。保護者・地域の方や市教育委員会指導主事、民生委員、学校支援会議員の皆様、訪問・参観してくださった皆様に厚く御礼申し上げます。子どもたちの様子は、いかがだったでしょうか。笑顔や頑張る姿が届いていたら嬉しく思います。

学校では、日々いろいろなことが起こります。いじめも含めて諸問題は、本校でも起きることがあります。大切なのは、問題が起きた際に、すぐに気付き、学校全体で組織的に対応することです。校長の私は、担任業務はできませんが、三十八人全ての子どもが私の受持ちの子どもであるとの思いを胸に、職員とともに、子どもの困り感や不安に寄り添います。そして、職員一丸となって、安心して学び合える学校をつくっていきます。

授業参観

六月十九日は、命の大切さや、豊かな心の育成に関わる道徳等の授業を公開しました。一年生では、家族からの手紙を子どもたちが直接聞く場面を設定していました。二・三年生は、「優しさの連鎖」について、やさしい気持ちが広がることの素敵な感覚を感じていました。四・五年生は、平和学習と命の尊さを結びつけて授業を進めて、戦争を二度と起こさない思いを強めていました。



1年生



2・3年生



4・5年生



6年生

六年生は実話である「命のアサガオ」の教材を通じて、自分の命を大切に、毎日一生懸命生きることを考える機会となりました。発達段階に合わせて工夫された授業は、子どもたちの心に届いたと信じています。そして、子どもたちの心の中で膨らんだ想いが、言動となって表れてくれることを期待しています。参観ありがとうございました。

統合・閉校に向けて

六月十八日付の長崎新聞に記載されましたとおり、野田小学校の統合・閉校が決定しました。今後は、議会での予算化や統合に向けた準備委員会が設置され、具体的に進んでいきます。

百五十周年の節目を終えましたが、百五十一年目の本年度は、特別な一年となります。野田小学校に関わる全ての人の想いをのせて、野田つ子の明るい未来へ繋ぐ一年にしていきます。

裏面に続きます。



土に触れ心を耕す体験活動

五年生は、一年間を通して米作りに関する体験活動を進めていきます。JA青年部の方の指導を受けながら畑で活動ができることに感謝申し上げます。六月に入り、もみまき、しろかきを行い、二十四日に田植えを実施しました。



6月6日 もみまき



6月18日 しろかき



しろかきの前に、田んぼを使って、鬼ごっこや綱引きなどを楽しみました。天気にも恵まれ、元気いっぱい楽しめました。

四年 社会科見学

六月十三日に、四年生が加津佐小学校四年生と合同で南島原市、長崎市での社会科見学を実施しました。南島原市では、衛生センターでごみの処理を実際に見て学習の理解を深めました。長崎市では、平和公園・原爆資料館での見学をとおして、平和の大切さを実感した様子でした。ピーススタジアムを訪れ、長崎市の今・未来も身近に感じることができました。充実した内容で四人も満足していました。



6月24日 田植え



【7月の主な予定】

- 1日(火) 水泳指導
- 2日(水) 3年総合
「ふるさと海の魅力等」
- 4日(金) 水泳指導
- 10日(木) 2・3年
「イルカウォッチング」
- 11日(金) 1年図書館見学
- 14日(月)～18日(金)
13時20分下校(全校)
- 16日(水) 口加高校訪問・交流学習
- 18日(金) 1学期終業式
- 22日(火) 保護者面談
- 23日(水) 保護者面談



星のカービィ



スヌーピー



野田浜海岸清掃・砂の造形
六月二十日、晴天のもと、子どもたち、野田浜を愛する会・保護者・民生委員の皆さんで野田浜のごみを拾い、きれいになった砂浜で造形活動に取り組みました。